

## 175 東京法学院記事 (実習科の開始・講師・入学試験・講談

会・運動会・破産法草案講義)

〔法学新報〕第十二卷十(一三九)号

明治三十五年十月十日]

## 東京法学院記事

○実習科の開始 実習科は設備全く整ひ愈々本月より授業を

開始し担任講師は刑法及び刑事訴訟法、法学士豊島豊通(控訴

院検事) 法学士岡田朝太郎(法科大学教授) 法学士棚橋愛七

(控訴院検事) 法学士谷野格(東京地方裁判所検事) 法学士

江木衷(弁護士) 法学士平山銓太郎(控訴院検事) 民法、法学

士磯谷幸次郎(控訴院部長) 法学士奥田義人法学士小山温(大

審院判事) 法学士横田秀雄(同上) 法学士榊原幾若(控訴院部

長) 法学士土方寧(法科大学教授) 商法、法学士馬場愿治

(大審院判事) 法学士岡野敬次郎(法科大学教授) 法学士志

田鉦太郎(高等商業学校教授) 民事訴訟法、今村信行(大審院

判事) 法学士伊藤悌治(大審院判事) 法学士仁井田益太郎

(法科大学教授) 憲法及び行政法、法学士穗積八束(法科大

学学長) 法学士岡實(農商務省参事官) 法学士清水澄(学習院

教授) 国際法、法学士高橋作衛(法科大学教授) 法学士中

村進午(学習院教授) 判決例法学士伊藤悌治の諸氏なり

○講師 今年より新に授業の担任を承諾せられたる講師は

法学士磯谷幸次郎(債権総論) 法学士岡田朝太郎(刑法局部

講義) 法学士小山温(実習科債権) 法学士棚橋愛七(実習科刑

法及び刑事訴訟法) 法学士松原一雄(国際公法) 法学士榊原幾

久若(実習科民法総則) 法学士齋藤十一郎(民事訴訟法自一編

至五編) 法学士清水澄(憲法) 法学士島村他三郎(行政法汎論)

法学士島田俊雄(法学通論)の十一氏なり

○入学試験 来る十七日午前九時より例の如く甲種及び乙種

入学試験を同二十一日午後一時より二年級への編入試験を挙

す

○講談会 前号所掲の如く去月二十七日午後二時より同院内

に講談会を開き花井卓藏氏は法律の信用に付き穂積八束氏は法

の社会的作用、山田三良氏は国際私法の研究に就て、松崎藏之

助氏は資本及び労力の効果に付き講演せられ其全く終りしは

午後六時なりし当日は聴講者非常に多くして定刻前既に満場立

錐の余地なく遺憾なから入場を謝絶するの止むを得ざるに至れ

り

○運動会 来る二十六日(日曜日)午前八時より飛鳥山に於

て秋季運動会を開く会長は例に依り奥田義人氏なり

○破産法草案講義 民法商法改正の結果現下改正の必要に迫られ居る同法は漸く其草案脱稿して先般公示せらるるに至りしか同案は舊法とは全く其立法の根拠を異にし舊法の思想を以て解するからざるものあれば同起草委員たる岡野法学博士は同院の懇請を容れ十一月より学生の為めに該講義を開始せらるる筈なり